



日本食品化工株式会社 第105期定時株主総会

2026年6月25日



報告事項

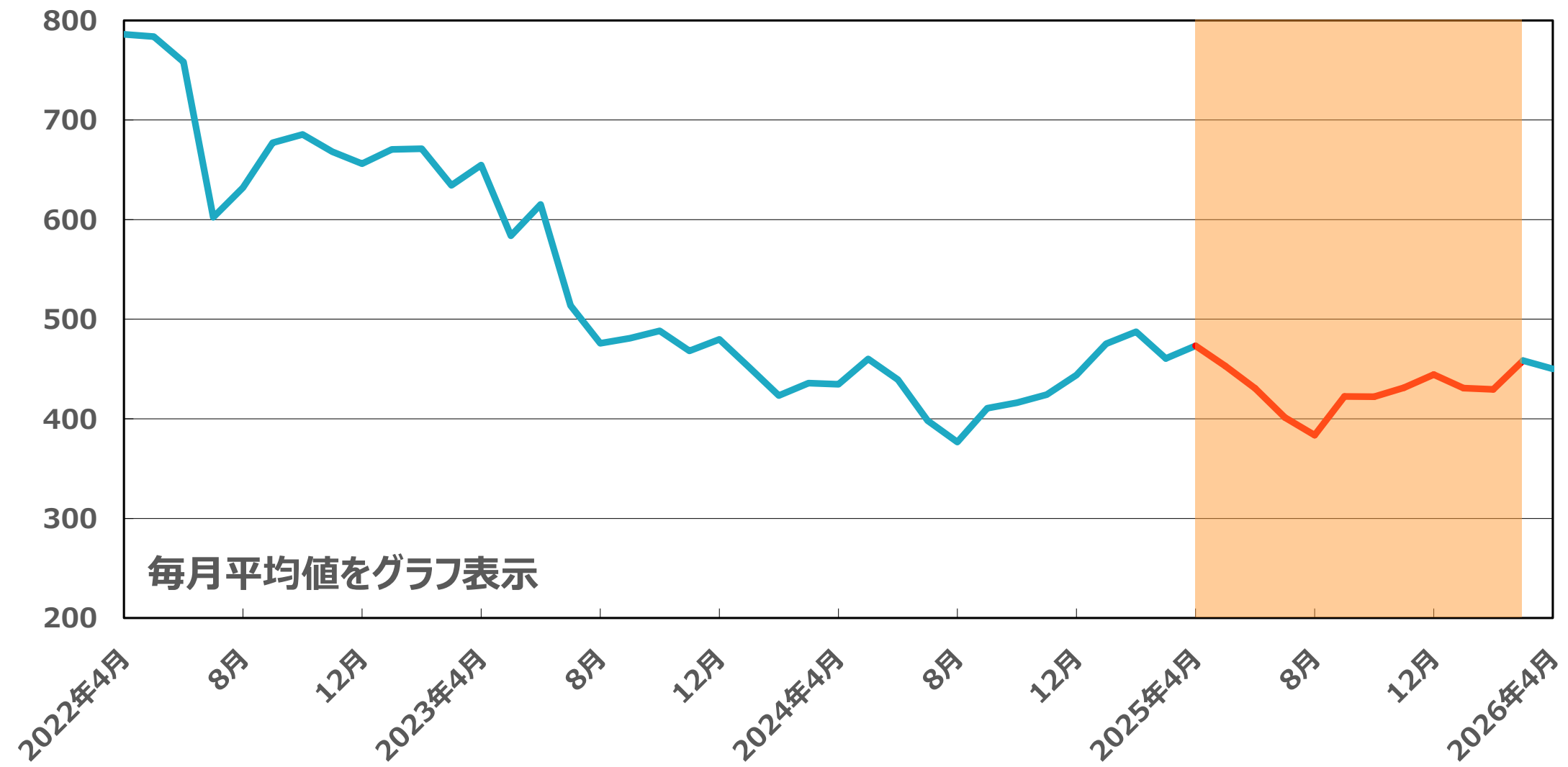
1. 第105期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）
事業報告、連結計算書類並びに会計監査人及び
監査等委員会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第105期（2025年4月1日から2026年3月31日まで）
計算書類報告の件



シカゴ相場

(¢/Bu*) ※ 1 Bu = 約 2.5 kg

シカゴ商品取引所より

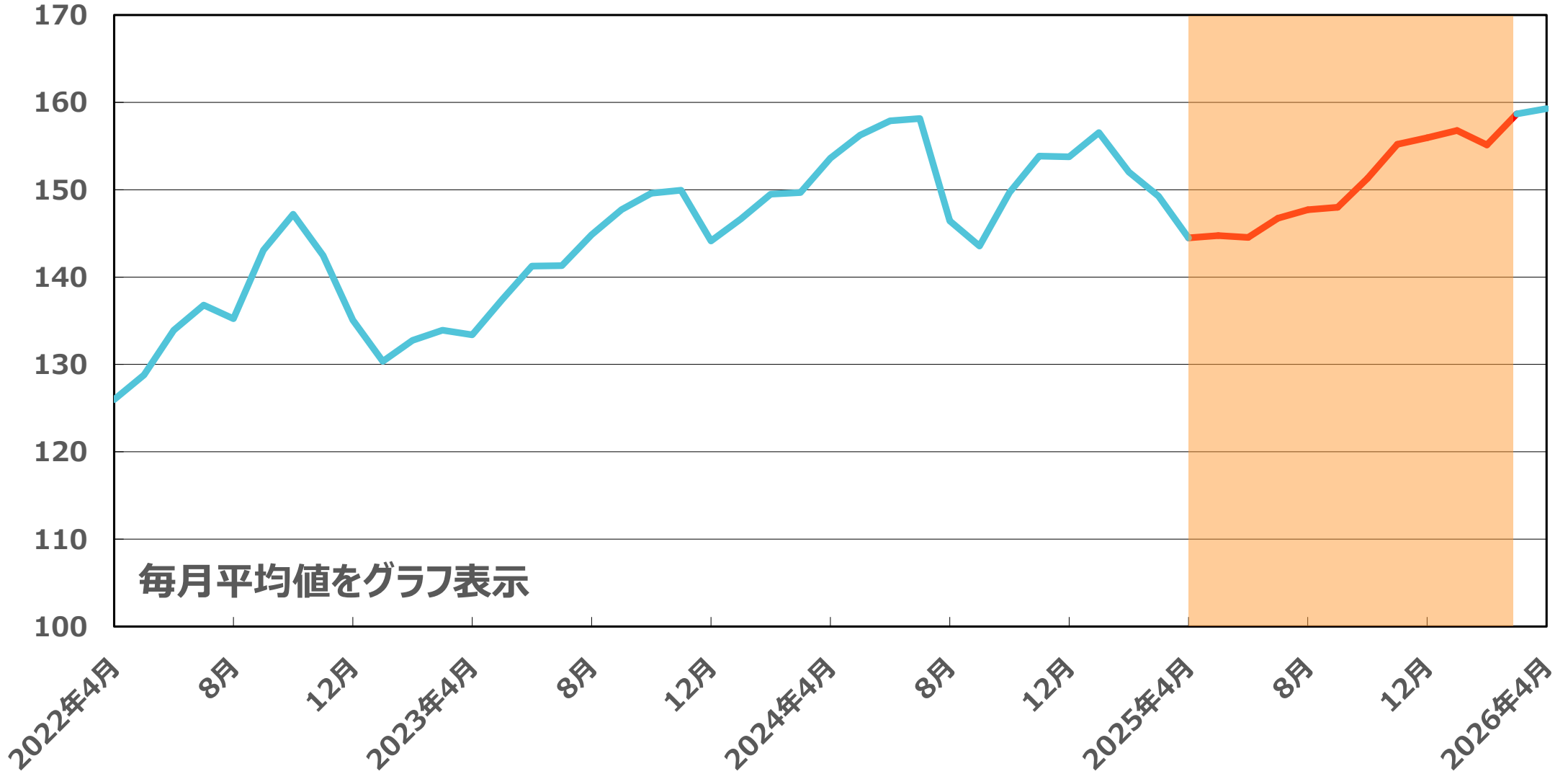




為替相場

(¥/\$)

TTM SPOT

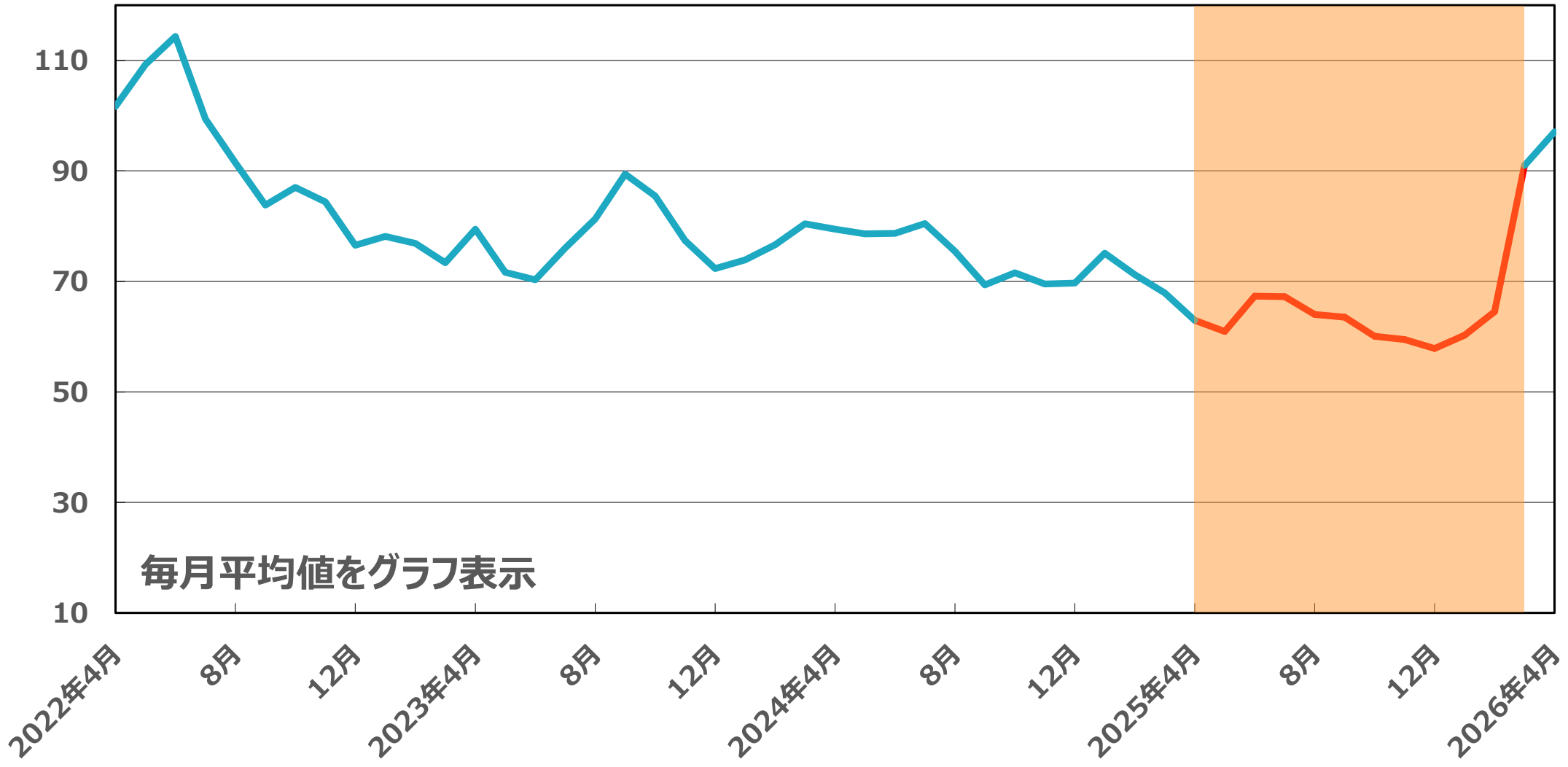




原油価格

(\$/BBL)

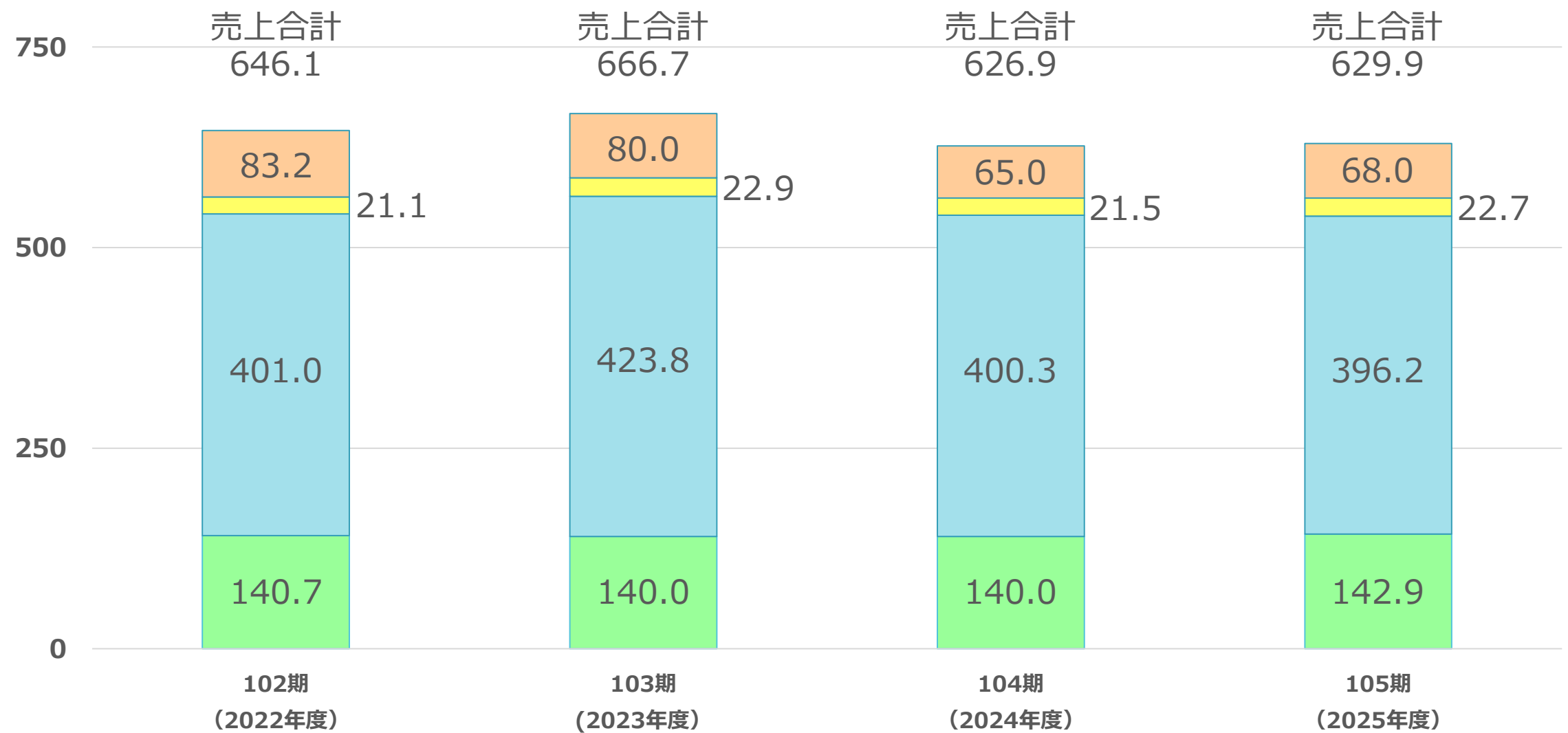
WT I





部門別売上高の推移

(単位：億円)



■ 澱粉部門 ■ 糖化品部門 ■ ファインケミカル部門 ■ 副産物部門

102期、103期は単体
104期、105期は連結



(単位：百万円)

	第105期 2025年4月1日から 2026年3月31日	第104期 2024年4月1日から 2025年3月31日	差異
科 目	金 額		
売上高	62,993	62,697	296
売上原価	52,731	52,665	66
販売費及び一般管理費	9,010	8,831	179
営業利益	1,251	1,200	51
営業外収益	604	978	△374
営業外費用	288	264	24
経常利益	1,568	1,914	△346
特別利益	—	113	△113
特別損失	4	100	△96
税引前当期純利益	1,563	1,927	△364
法人税、住民税及び事業税	644	322	322
法人税等調整額	△249	77	△326
親会社株主に帰属する当期純利益	1,168	1,527	△359



連結貸借対照表（資産の部）

（単位：百万円）

科 目	第105期	第104期	差異
	2026年3月31日現在	2025年3月31日現在	
<u>資 産 の 部</u>			
流 動 資 産	29,106	28,035	1,071
固 定 資 産	21,549	22,085	△536
有 形 固 定 資 産	14,901	15,424	△523
無 形 固 定 資 産	471	342	129
投 資 そ の 他 の 資 産	6,176	6,319	△143
資 産 合 計	50,656	50,121	535

連結貸借対照表（負債・純資産の部）

(単位：百万円)

	第105期 2026年3月31日現在	第104期 2025年3月31日現在	差異
科目	金額		
<u>負債の部</u>			
流動負債	15,978	17,117	△1,139
固定負債	4,491	4,578	△87
負債合計	20,470	21,696	△1,226
<u>純資産の部</u>			
資本金	1,600	1,600	-
資本剰余金	327	328	△1
利益剰余金	26,198	27,710	△1,512
自己株式	△379	△2,148	1,769
その他の包括利益累計額	2,439	934	1,505
純資産合計	30,186	28,424	1,762
負債・純資産合計	50,656	50,121	535

(単位：百万円)

	第105期 2025年4月1日から 2026年3月31日	第104期 2024年4月1日から 2025年3月31日	差異
科 目	金 額		
売上高	62,993	62,697	296
売上原価	52,731	52,665	66
販売費及び一般管理費	9,015	8,834	181
営業利益	1,246	1,197	49
営業外収益	954	723	231
営業外費用	288	264	24
経常利益	1,912	1,656	256
特別利益	-	113	△113
特別損失	4	100	△96
税引前当期純利益	1,907	1,669	238
法人税、住民税及び事業税	642	321	321
法人税等調整額	△253	16	△269
親会社株主に帰属する当期純利益	1,518	1,331	187



課 題	対 応
不安定な原燃料相場 供給不安	販売価格の適正化 コストの削減 外部環境への柔軟対応
国内需要の減退	独自価値の素材提供（テクスターチ・ スタークロス70PPi・メガロリンク等）
	新規市場開拓（非食品分野・海外市場等）
持続可能な社会の実現	サステナビリティ重要課題の取り組み



第106期（2026年度）の業績予想

	第106期 連結 予想 (2026年度)	第105期 連結 実績 (2025年度)
売上高	655.0億円	629.9億円
営業利益	19.0億円	12.5億円
経常利益	20.0億円	15.6億円
当期純利益	15.0億円	11.6億円
配当単価	150円	145円※

※本定時株主総会にて正式に決定



フェーズ2

NSK2030実現に
向けた

＞ 施策展開期

成長につながる
施策の推進強化



長期経営ビジョン

NSK2030

フェーズ1

＞ 体制強化期

「あるべき姿」の実現に向けた
仕組み・体制の再構築

中経2024
2022-2024 年度

フェーズ3

＞ 成長促進期

成果の刈り取り・
さらなる飛躍に向けた仕込み

中経2030
2028-2030 年度

中経2027
2025-2027 年度

サステナビリティ重要課題



目標値

連結経常利益 17~23億円(20±3億円)

連結ROE 5~6%

事業戦略

- I. 重点領域の具現化と新規事業創出
- II. 収益構造の見直しと設備の最適化
- III. 人材・組織の相互成長と社会・環境価値の追求

財務・資本戦略

- I. 収益力・資本効率化に向けた指標の導入
- II. 最適資本構成実現に向けた
キャピタルアロケーション

サステナビリティ重要課題

- I. 脱炭素・環境保全
- II. 豊かな社会の実現
- III. 人材の育成と組織風土の醸成
- IV. 社会的信頼性の向上
- V. 地域とのつながり



	105期 (2025年度)	106期 予想 (2026年度)	107期 (2027年度)
経常利益	15.6億円	20.0億円	-
ROE	3.9%	5.1%	-
配当性向	60.8%	47.3%	-



基本方針

105期の主な進捗

事業戦略

重点領域の具現化と
新規事業創出

- ・機能性糖質等の開発を推進し、遅消化性糖質「メガロリンク」を上市。
- ・でん粉プラスチック「スタークロス70PPi」の市場形成の取り組み推進。
- ・海外新市場の嗜好性に合わせた加工でん粉「テクスターチ」シリーズ拡充。

収益構造の見直しと
設備の最適化

- ・繁忙期においても、安定的な製品供給を継続。
- ・原燃料コスト等の製品販売価格への適正な反映を実施。
- ・副産物（フィード・ミール）における価格決定スキームの導入。

人材・組織の相互成長と社会・環境価値の追求

- ・サステナビリティ経営に繋がる諸施策を推進（人権方針策定、GHG排出量削減、地域貢献活動等）。
- ・生産性向上に資するDX活用の取り組みを進展。

資本戦略・財務

最適資本構成実現に向けた
キャピタルアロケーション

- ・新規事業投資案件の具体化を目的とした検討を推進中。
- ・DOE2.5%以上の配当実施、自己株式の消却及び取得を実施。



決議事項

第1号議案 剰余金の処分の件

第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）
5名選任の件

第3号議案 監査等委員である取締役4名選任の件



決議事項

第1号議案 剰余金の処分の件

期末配当に関する事項

(1) 配当財産の種類

- ・金銭

(2) 株主に対する配当財産の割当てに関する事項及びその総額

- ・当社普通株式：1株につき金75円

- ・総額：364,827,600円

(3) 剰余金の配当が効力を生ずる日

- ・2026年6月26日



決議事項

第2号議案 取締役（監査等委員である取締役を除く。）
5名選任の件

候補者氏名

- (1) 若木 孝優 (2) 伊藤 剛 (3) 丹野 格
(4) 石川 宏明 (5) 浅見 彰宏



決議事項

第3号議案 監査等委員である取締役4名選任の件

候補者氏名

- (1) 佐藤 幸一郎 (2) 寄山 淳子
(3) 井上 恵子 (4) 瀬尾 悟郎



多様な Well-being のために



日本食品化工株式会社